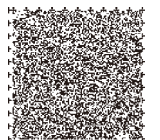


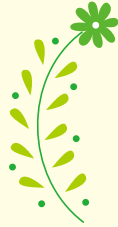
平成 30 年度

ふくおか 共助社会づくり 表彰



下の模様は音声コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声聞くことができます。





受賞取組・団体一覧 (6件25団体)



医療通訳者養成による外国人患者の受入れ環境整備

特定非営利活動法人グローバルライフサポートセンター / 福岡赤十字病院 /
医療法人原三信病院

3
ページ



きゅうでんプレイフォレスト

特定非営利活動法人エコけん / 特定非営利活動法人 KID's work /
特定非営利活動法人エコネットふくおか /
New 福岡グリーンヘルパーの会 /
NPO 法人九州山口 CO2 カウンセラー協会 /
特定非営利活動法人グリーンシティ福岡 / 九州電力株式会社

4
ページ



暮らしと松林をつなげる「松葉の堆肥づくり」

特定非営利活動法人循環生活研究所 / 福岡市農林水産局農林部森林・林政課

5
ページ



循環型子育て支援システムによる多胎児家庭支援

ツインズクラブ / 久留米市こども子育てサポートセンター

6
ページ



大学生災害ボランティア支援センター「うきはベース」

NPO 法人 ANGEL WINGS / 公立大学法人北九州市立大学地域共生教育センター /
西南学院総務部キリスト教活動支援課ボランティアセンター事務室 /
久留米大学 / 南福岡自動車学校 / 北九州第一ライオンズクラブ /
日本防災士会久留米支部 / うきは市市民協働推進課 /
福岡県人づくり・県民生活部社会活動推進課

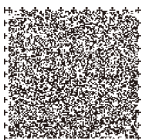
7
ページ



地域の拠点づくり ～住み慣れた地域で最期まで～

特定非営利活動法人なごみの家 / 四箇田団地有志の会

8
ページ



はじめに

少子・高齢化の進展や人々の価値観の多様化に伴い、NPO・ボランティアは、福祉や子育て支援、環境保全など、さまざまな分野に活動の幅を広げ、地域課題を解決するサービスの担い手として大いに期待されています。

こうした中、福岡県では、NPO・ボランティアや企業、行政などが知恵や力を出し合い、共に支え合う「共助社会づくり」を進めています。

「ふくおか共助社会づくり表彰」は、NPO・ボランティアと企業、行政などによる優れた他の模範となる協働の取り組みを表彰するもので、受賞された取り組みは、県民の皆さんに広く紹介しています。

有識者による選考の結果、11回目となる今年度は6件の取り組みを表彰する運びとなりました。

受賞した取り組みは、医療や環境保全、地域活性化、災害復旧などのさまざまな課題に対し、NPO・ボランティアと地域の専門機関や大学、企業、行政などが協働して、それぞれの強みを生かしながら活動を行っており、いずれも着実に成果を上げています。

受賞された団体の活躍の場がさらに広がるとともに、この表彰が、NPO・ボランティアと多様な主体による協働の活発化と、これからの本県の共助社会づくりに寄与することを大いに期待します。

平成30年12月

福岡県知事 小 川 洋





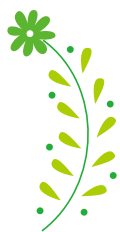
NPO職員による国際医療の現状と医療通訳の業務についての講義風景



医師による医療分野基礎知識の講義風景



医療通訳者 養成による外国人患者の 受入れ環境整備



在住外国人や外国人観光客の増加に対して、社会及び地域の受け入れ体制は常に後手になっており、現状、十分に整っていない。

それは命に係わる医療現場においても同様で、外国人がけがや病気をした際は、知人、友人、家族といった身近な人に通訳を頼み、なんとかその場を凌いでいる状況にある。

そこで、NPOと病院が協働して、医療通訳者養成を通して外国人患者の受入れ環境を整備する取り組みを実施している。

養成講座では医師、NPO職員等が講師を務め、通訳者の役割や守秘義務、通訳を必要とする患者・家族・関係者の心理、文化や社会的背景の違いなど倫理や行動規範について講義を行うとともに、病院での実務研修も実施している(対象言語は英語、中国語、韓国語、タガログ語)。

専門性の高い医療通訳者が養成され、普及することで、医療機関の外国人に対するサービスの向上と、外国人患者・病院の双方が安心して医療を受けられる体制整備につながる。

また、受講生だけではなく、病院職員の外国人対応の意識改革に繋がっており、国際医療の体制づくりに貢献している。



医療通訳時の実技指導の様子



ロールプレイでの実技練習。
模擬カルテを使い、グループでの事例検討や分析。



約10か月仲間と一緒に学ぶことで、意識高揚にも繋がります。

団体名 <NPO> 特定非営利活動法人グローバルライフサポートセンター

医療通訳者・コーディネーターの養成

<病院> 福岡赤十字病院

医療法人原三信病院

医師・看護師による基礎医療知識の講師、講座会場の提供、通訳実習・実技研修協力



お問い合わせ先

特定非営利活動法人グローバルライフサポートセンター

〒812-0026 福岡市博多区上川端町12-28

TEL:092-283-8891 URL: <http://www.npo-global.jp/>





丸太切りに挑戦!

オリエンテーションで地球温暖化の現状や森の役割を学習



きゆうでん プレイフォレスト



森には地球温暖化や災害を防ぐ公益的機能があり、私たちの生活の中で重要な役割を果たしているが、子どもたちが、森と触れ合いながら様々な体験を通じてそれらを学ぶ機会が少なくなっている。

こうした状況を踏まえ、九州電力では、NPOと協働して県内各地の自然の中で、小学生とその家族を対象とした体験型の環境イベントを実施している。

参加者は、オリエンテーションで、実験やネイチャーゲームを通して森の役割を学習し、その後、NPO等が出展するブースにおいて、間伐材を利用した箸づくり、薪割り・丸太切りなどの林業体験、自然観察、ロープを使った木登り、火起こしなどを体験。オリエンテーションで学んだ後に実際に体験するプログラム構成とすることで、より深い理解につなげている。

これまでに約3,300名の親子が参加しており、取組みを通して子どもたちの学びや成長、環境保全意識の醸成を図っている。



人気のわくわく木登りツリーイング



火起こし体験「炎の魔法学校」



端材を活用したマイ箸づくり

団体名

- 〈NPO〉 特定非営利活動法人エコけん
- 特定非営利活動法人KID's work
- 特定非営利活動法人エコネットふくおか
- New福岡グリーンヘルパーの会
- NPO法人九州山口CO2カウンセラー協会
- 特定非営利活動法人グリーンシティ福岡
- 各種体験ブースの出展・運営

- 〈企業〉 九州電力株式会社
- 全体統括・企画運営・広報



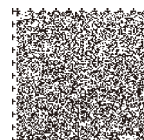
お 問 い
合 わ せ 先

九州電力株式会社 地域共生本部地域共生グループ

〒810-8720 福岡市中央区渡辺通2-1-82

TEL:092-726-2208

URL: http://www.kyuden.co.jp/company_local-social_playforest_index.html





地域の方と松葉を回収する



木屑コンポストを利用したの堆肥づくり

暮らしと松林をつなげる 「松葉の堆肥づくり」

かつて松葉は燃料として活用されていたため、松林には人が多く入り、美しい自然が広がっていた。しかし燃料として使われなくなった後は人々の関心が薄れ、松林は荒廃し、富栄養化からの松くい虫の増加、松枯れ、と負のスパイラルが続いている。

これまで薬剤散布や枯損木伐採駆除等を行ってきたが、活動の担い手の減少や高齢化などにより、こうした対策は限界に達している。

そこで、NPOと行政が協働し、松葉堆肥の有効性を住民に伝え、松林に対する興味・関心の向上を通じて、荒廃した松林を保全する取組みを行っている。

住民を対象にした松林の課題や松葉堆肥に関するワークショップ形式の普及活動、小中学校での堆肥づくりを通じた教育活動、NPOが管理する農園などでの堆肥の活用方法の開発などを行っている。

松葉堆肥に関心をもった住民の参加により松林の保全活動も活発に行われるようになり、県内外の団体にも取組みが波及している。



地元の中学校と松林を清掃、堆肥をつくる

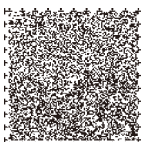


松葉堆肥で育てたタマネギ

- 団体名** **〈NPO〉 特定非営利活動法人循環生活研究所**
 松葉の堆肥化・作成指導、イベントの開催・活動PR、
 他団体との情報交換、連携
- 〈行政〉 福岡市農林水産局農林部森林・林政課**
 情報提供、広報・普及活動、関係機関との連絡調整



松葉堆肥で育てたタマネギでソースを製作・テパートで販売する



お 問 い
合 せ 先

特定非営利活動法人循環生活研究所

〒811-0201 福岡市東区三苫4-4-27

TEL:092-405-5217 URL: <http://www.jun-namaken.com/>





ピアサポーター養成講座の風景
(受容、傾聴、共感を学ぶ講座)



定例会 リトミック
(音楽療法士の先生と一緒に)

循環型 子育て支援システムによる 多胎児家庭支援

多胎児家庭は身近に相談できる経験者がおらず、妊娠・出産・育児に対して不安を感じ、困難な状況に置かれていることが多い。精神的に追い詰められることも多く、当事者の気持ちに寄り添った支援が求められている。その為、行政との協働で、多胎育児支援を行っている。

傾聴訓練等の研修を受けた多胎育児経験者であるピアサポーターと保健師が、病院や多胎児家庭を訪問し、沐浴・授乳の指導、サークルの案内、産後使える社会資源の紹介、日本多胎支援協会の冊子の配布等を行い、その後、個別の悩みにも対応している。

毎月の定例会では、先輩ママによる育児相談や未就園児ママ同士で赤ちゃんを連れて行きやすい場所等について情報交換を行っている。

同じ年齢の子どもを複数同時に育てる悩みは、乳幼児期だけでなく、学童期、思春期にも続く。多胎育児の経験者が次の当事者を支える新たなピアサポーターとなることで、循環型の子育て支援システムを構築している。



定例会 ちびっこツインズ大集合
(双子ママ同士すぐに仲良くなれます)



多胎育児学習会(子育て支援者と当事者の勉強会)



クリスマス会(赤ちゃんから中高生多胎児ファミリー交流会)

団体名

〈NPO〉 ツインズクラブ

事業実施全般

〈行政〉 久留米市こども子育てサポートセンター

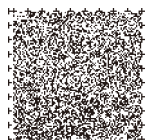
ツインズクラブ定例会への参加、保健師による訪問事業への同行、講演会の共催

お問
い
合わせ先

ツインズクラブ

〒830-0004 久留米市南薫町1637-12

TEL:090-3417-0476 MAIL:nqp01982@nifty.com





うきはベース



松末小学校土砂出し活動

大学生災害ボランティア 支援センター 「うきはベース」

平成29年九州北部豪雨災害が発生し、被災地では多くのボランティアを必要としていたが、復旧・復興活動の主要な担い手となり得る大学生にとって、被災地の情報不足や、宿泊経費がボランティア参加のハードルになっていた。

そこで、NPOと様々な団体が協働して、大学生ボランティアの宿泊拠点として、「大学生災害ボランティア支援センター『うきはベース』」を設置し、土砂出しなどの被災地支援を行った。

被災地の災害ボランティアセンターと連携することで、支援ニーズを的確に把握することができ、また、宿泊した学生間で支援活動における課題の引き継ぎが可能となったことで、ボランティアセンターに負担をかけずに毎日一定人数のボランティアを継続して活動に送り出すことができた。

また、企業、団体、行政との連携により、宿泊費や活動現場までの交通費を無料とするなど、大学生の負担軽減を図った。

これまでに延べ1,600名を超える学生が全国から参加し、様々な支援活動を行っている他、大学生同士の交流、学びの場ともなっており、人材育成にも寄与している。



クリスマスチャリティセンター



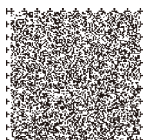
うきはベースでの活動後ミーティングの様子

団体名

- 〈NPO〉 NPO法人ANGEL WINGS 現場及び各団体との全体調整
- 〈大学〉 公立大学法人北九州市立大学地域共生教育センター
西南学院総務部キリスト教活動支援課ボランティアセンター事務室
久留米大学
学生への各種サポート
- 〈企業〉 南福岡自動車学校 宿泊場所から活動場所への送迎
- 〈団体〉 北九州第一ライオンズクラブ、日本防災士会久留米支部
移動用車両の提供、各種サポート、うきはベースの環境整備及び宿泊管理
- 〈行政〉 うきは市市民協働推進課
宿泊拠点施設の提供、入浴施設の無償提供
福岡県人づくり・県民生活部社会活動推進課
うきはベース開設に係る関係機関との調整及び初期の運営



松末小学校閉校イベント
「ありがとう松末小」でのランタン準備



お問
い
合わせ先

NPO法人ANGEL WINGS

〒802-0833 北九州市小倉南区上石田4-12-3
TEL:093-962-5750 URL: <http://r.goope.jp/angelwings>





懐メロや叙情歌をみんなで楽しく歌う「音楽教室」

みんなで助け合い ともに暮らすまちづくりを目指して「RUN伴+2018」

地域の拠点づくり ～住み慣れた地域で最期まで～

福岡市早良区の四箇田団地では高齢化が進み、テナント大部分が撤退した現在、高齢者の引きこもりや孤独死が問題となっている。

住民からは、近所付き合いや相談相手がないなどの不安の声が聞かれる一方、住民の多くが「ずっと住み続けたい」と希望していた。

そこで、NPOと地域コミュニティが協働し、団地内に、年齢、校区内外問わず誰でも利用可能なコミュニティスペース「しかたの茶の間」を開設し、住民の交流拠点として様々な活動を実施している。

住民が講師を務める、折り紙、音楽、体操、ちぎり絵などの教室の開催や、独居高齢者を対象としたおとな食堂などの実施、また、年1回の七夕会では、保育園児から大人まで一緒に飾り付けを行い、幅広い世代の交流を図っている。その他、三線や三味線コンサートなどのイベントも実施している。

住民主体で活動を行うことで、「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため」という共通理解が生まれ、地域全体で課題解決に向け取組みを行っている。



「なごみカフェ」では住み慣れた地域で最期までをテーマに学習しています



お子さんからお年寄りまで「大笹飾り」で「地域」が賑わいます



地域の“名人”による「折り紙教室」作品も展示しています

団体名

〈NPO〉 特定非営利活動法人なごみの家

場の提供、イベント企画、専門職による各種相談・行政手続き

〈地域コミュニティ〉

四箇田団地有志の会

地域住民の見守り、声掛け活動、講師人材発掘・教室の開催

お問い合わせ先

特定非営利活動法人なごみの家

〒811-1102 福岡市早良区東入部1-4-2

TEL:092-205-7533 URL: <http://care753.jp/outline/>





ふくおか共助社会づくり 表彰について



表彰の趣旨

この表彰は、NPO・ボランティアと企業、行政などによる優れた他の模範となる協働の取り組みを表彰し、NPO・ボランティア、企業その他団体の公益的活動を促進するとともに、NPO・ボランティアの社会的な信頼性を高め、本県の共助社会づくりに資することを目的に行っています。

対象となる取り組み

表彰の対象となる取り組みは、NPO・ボランティアが、企業、行政その他団体と、地域の課題を解決するため、互いの特性を生かしながら、協力して行う協働の取り組みです。

NPO・ボランティア団体には、NPO法人及びボランティア団体の他、公益社団法人・公益財団法人、一般社団法人・一般財団法人が該当します。

被表彰取組の決定

自薦又は他薦により応募があった取り組みの中から、外部有識者を中心に構成する「ふくおか共助社会づくり表彰選考委員会」の選考を経て決定します。

表彰の募集

募集期間は、例年4月頃から開始しており、次回表彰の募集については、詳細が決まり次第、福岡県NPO・ボランティアセンターのHP等でご案内する予定です。ご関心のあられる方は、センターまでお問い合わせください。



福岡県NPO・ボランティアセンターのご案内

福岡県NPO・ボランティアセンターは、NPO法人の設立相談から認証、運営、活動の支援まで一貫して対応する県公設のセンターです。各種相談に対応する他、NPO・ボランティアの皆さんの活動に役立つ設備提供や情報提供、そして生涯学習情報の発信を行っています。また、NPO・ボランティアと企業や行政との協働やネットワークづくりも進めています。施設については、次のとおりとなっていますのでご利用ください。



相談窓口 (NPO法人への委託)

NPO・ボランティア活動に関するさまざまな相談を受け付けています。



印刷設備 (一部有料)

印刷機、長尺プリンター、裁断機、紙折り機などを設置しています。



会議室 (無料・要事前予約)

ホワイトボードやスクリーン、プロジェクターを完備し、約50名収容できます。



情報コーナー

助成金情報やNPOボランティア活動に役立つ書籍などが閲覧できます。



お問い合わせ / アクセス

福岡県 NPO・ボランティアセンター

住所 〒812-0046

福岡市博多区吉塚本町13番50号 福岡県吉塚合同庁舎5F

連絡先 TEL 092-631-4411 FAX 092-631-4413

MAIL nvc@pref.fukuoka.lg.jp

開館時間 月曜日～金曜日 9:00～20:00 / 日曜日及び祝日 9:00～17:00

休館日 土曜日・年末年始(12/29-1/3) ※祝日が土曜日に当たる場合も休館いたします。

アクセス JR「吉塚」駅より徒歩約3分 西鉄バス「吉塚駅前」バス停より徒歩約3分

福岡市営地下鉄「馬出九大病院前」駅より徒歩約10分



福岡県 NPO

検索

ホームページ <https://www.nvc.pref.fukuoka.lg.jp/>



福岡県